

校名：広島大学附属三原学校園（幼・小・中）

所在地：〒723-0004 広島県三原市館町 2-6-1 電話番号：0848-62-4884

記載日：2016年6月13日 記載者：大上 輝明

記載者役職：副校長

貴校の校風、おおまかな特色について

創立 105 年目を迎える幼小中一貫教育学校である。

【教育研究】【教育実習】【地域教育への貢献】を 3 使命とする。

教育理念：自ら伸びよ(大正3年〔1924年〕制定)

自伸会信条 — 私たちは私たちの力で伸びていこう

We shall develop ourselves through our ability.

— 私たちは人のためにつくして感謝しよう

We shall serve people and feel pleasure and thanks for this.

— 私たちは私たちのきまりを尊重しよう

We shall pay regard to our rules.

貴校の卒業生の活躍状況について

- ・本学校園は幼小中完全連絡入学である。
- ・中学生の進学校については全て把握している。
- ・活躍状況は同窓会名簿で勤務先等は把握できるが、具体的活躍状況は十分に把握できていない。
- ・後援会や同窓会に依頼して、卒業生で活躍している方の講演会を依頼することがある。
- ・今後、地元（三原）の素晴らしさをアピールするために、追跡調査を実施計画中である。
- ・中学生は「ワクワクワーク」という単元（1週間）で、地元の企業に出向き、職場体験で学ぶ。

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について

- ・教職員 OB 会【桜南会（おうなんかい）】を組織している。年 1 回（7 月第 2 土曜日）に総会及び懇親会を開催して、情報交換を行っている。
- ・各教育委員会（教育事務所）の指導主事及び管理職として活躍している方も多い。
- ・情報は学校園と広島大学が持っている。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて

【第 3 期中期目標中期計画：重点目標より】

1 学校経営

- 教員配置、校長裁量経費の重点配分を含む校園長のマネジメント機能強化
- 教員の職能力（教員研修及び FD を含む）及び業務改善

2 教育課程開発

- 幼小連携・小中連携の強化
- 幼小中 12 年間一貫カリキュラム完成・実施と全国発信

3 教育研究

- 研究開発校として幼小中12年間一貫カリキュラム，及びその評価法を開発
- 平成24年度から文部科学省の研究開発校として継続している，新領域「希望（のぞみ）」の研究開発

4 地域貢献・附属の役割

- 最先端の教育・研究の推進校としての役割と機能の達成
- 教員研修センターとしての役割と機能の達成
- 高度な教員養成拠点校としての役割と機能の達成
- 広域にわたる地域貢献拠点校としての役割と機能の達成

5 グローバル・国際貢献

- 幼小中12年一貫教育を通して，幼児・児童・生徒を対象とした教育研究，及び教育実習にグローバルな視点を導入

6 安全・危機管理

- 幼児・児童・生徒・教員・保護者の安全に関して，関係機関と連携して，安全・危機管理体制を確立

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について
地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか

1 カリキュラム・マネジメントの力量形成

- 幼稚園・小学校・中学校，各所属の子どもの見とりを身近で実態把握することができ，発達段階に即し12年間一貫のカリキュラム・マネジメントの力量が付く。

2 21世紀型能力及びアクティブ・ラーニング

- 「希望（のぞみ）」の研究開発によって，これからの子どもに必要な21世紀型能力，すなわち汎用的な資質・能力や態度・価値観についての先進的な視野が広がり，加えて，真のアクティブ・ラーニングの手法を獲得することができる。

3 教員の資質・能力向上

- 全体研究部会や各種研究部会における多角的な意見交流，乗り入れ授業や交流授業を通して，一貫教育学校の教員としての資質・能力が高まる。
- 県教委・市町教委及び教育事務所との連携を強化し，情報交換を積極的に行い，研修の場を提供する。

4 学校運営マネジメント力の向上

- 学校園内で開催するミドルリーダー研修・管理職研修を通して，学校マネジメント力を獲得させる。

◆文部科学省研究開発学校：新領域「希望（のぞみ）」

（平成24年度～26年度指定，及び平成27年度～29年度延長指定）

【研究テーマ】

「社会的自立の基礎となる資質・能力及び態度・価値観の体系的な育成のための，幼小中一貫の新領域を核とした自己開発型教育の研究開発（5年次）」

平成 28 年度 教育課程構造図

教育基本法
学校教育法

教育理念 自ら伸びよ

社会的背景
・グローバル化
・知識基盤社会
・少子高齢化社会等

本学校園の
使命

・教育研究
・教育実習
・地域教育への
貢献

教育目標 人格の調和的・総合的発達をめざす

自伸会三信条

- 私たちは 私たちの力で伸びていこう
- 私たちは 人のために尽くして感謝しよう
- 私たちは 私たちの決まりを尊重しよう

地域・保護者の願い
・社会の中で真に生
きてはたらく力
の育成

めざす子ども像

様々な人々とともに、積極的に粘り強く課題解決に取り組む中で、
社会において有為な人となるべく自己の向上を図る子ども

態度・価値観

共生 自律 参画

資質・能力
(通教科的な能力)

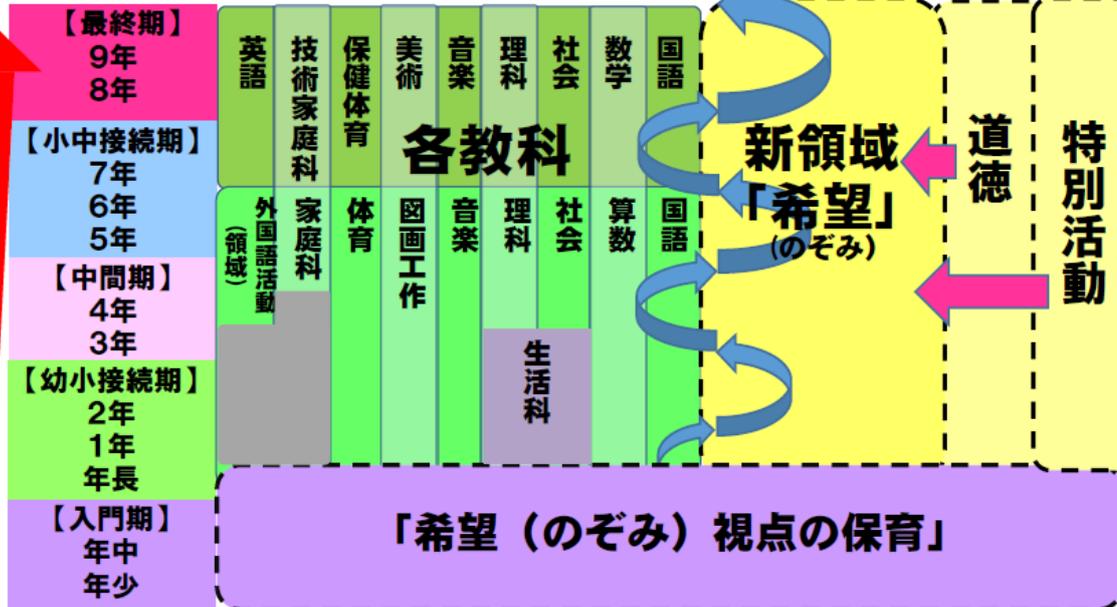
12年間で育成する「社会の中で『真に生きてはたらく力』」

人間関係形成・
社会形成能力

キャリアプラン
ニング能力

課題対応能力

12年間一貫の発達と接続を意識した学年区分



<教育課程の特徴>

12年間一貫カリキュラム (ステップアップカリキュラム)

全教育課程において自己開発に必要な資質・能力及び態度・価値観を育成

総合的な学習の時間のすべてと道徳と特別活動の時間の一部をあてた新領域「希望 (のぞみ)」

- ・総合的な学習の時間の目標に加え、資質・能力及び、態度・価値観の体系的な育成のための単元を設定
- ・道徳の時間の「自らの生き方、あり方について考えること」の一部を包摂し、価値の実践化の場としての学びを創造
- ・児童会・生徒会活動及び学校行事の一部や体験的な活動と関連付け、児童生徒が自己指導力を発揮できる学びを創出

「希望 (のぞみ) 視点の保育」

5領域をふまえ、「希望 (のぞみ)」の視点に係る活動を設定

「希望 (のぞみ)」と関連した「教科」

「希望 (のぞみ)」で培う能力を通教科的な能力とし、全教科で、通教科的な能力と関連的に育む教科の本質に根ざした資質・能力を育成